

あとがき

私は執筆を始めるにあたって、本書を、自分の子どもや子孫に遺す「贈り物」にしたいと考えました。そして、「自分の子どもや子孫に最も伝えたいことは何か？ どうしてもこれだけは伝えておかないといけない、と思うことは何か？」を何度も自問しながら、構成と内容を考えました。

そして実際に執筆を終え、読みなおしてみte思ったことは、「これは自分のための本じゃないか！」ということでした。私が私自身に最も言い聞かせたいことが書いてあるのです。

私自身が生涯を通じて、本書に書いてあることを実践し、どこまでも成長し続けていくこそが、子どもと子孫への最高の贈り物になるのだと確信しました。

さて、私はこれまで四冊の著書を上梓じょうししました。自己実現のための心理学的手

法を紹介した『幸せ成功力を日増しに高めるEQノート』（日本実業出版社）、ゆるしと感謝をテーマにした物語『鏡の法則』と、それを漫画化してQ&Aを加えた『コミック 鏡の法則』（ともに総合法令出版）、そして、真の幸せに至る道を示した物語『3つの真実』（ビジネス社）の四冊です。

おかげさまで、どの本もベストセラーになり、多くの方に読んでいただいております。

これらの本の読者からは、「人生が変わりました」「運が開けてきました」「困難な状況を打開できました」など、感謝のメールやお手紙がたくさん届いています。

とても嬉しく思うとともに、「人生を好転させることができた方たちの共通点は何だろうか？」と、いつも考えてきました。そして、その答えこそは行動・実践であると確信するに至りました。

本書『心眼力』を読んだあなたが、ゲームのように楽しみながら行動・実践を

され、ますます輝いていかれることを私は信じています。

本書の出版にあたり、サンマーク出版編集部鈴木七沖さんと音楽家の佃良次郎さんからは、言葉に表せないほどの尽力をたまわりました。また、多くの方々からたくさんのご協力をいただきました。感謝いたします。

そして、私を育ててくれた両親と、いつも私をサポートしてくれている妻と二人の子どもたちに感謝します。あなたたちのおかげでこの本が生まれました。ありがとうございます！